

支部の大役を仰せつかり、瞬く間に三年の月日が流れました。連盟会長鷲野紫篁先生始め次長の村田光格・橋本成良・吉田桃花先生。小島瑞月先生。部長の先生方には、献身的・渾身的なご協力をいただき、無事に各事業活動を完了する事が出来ました。“感謝”的な言葉が御座いません。

支部会員の皆様におかれでは、諸行事の実施に当たり、温かいご支援ご参加を頂戴し、盛況の裡に終了できました。此の紙面をお借

り致し、心より感謝と御禮を申し上げます。

令和時代に入った昨年度を顧みますと、一宮支部設立六十五周年を迎えること

が出来、記念事業としては、関係各位をはじめ、皆々様のご協力のお蔭をもちました。行及び、記念支部展特別展示にて「支部先賢遺墨集」の発

通した一宮支部という共同体のメンバーである事を誇りに、それぞれの自己研鑽を行いつつ、生涯学習の斯道を通して”歓び”を噛みしめて行けたらと思う次第であります。

川浦碧濤支部長のご挨拶

この状況下、今後の支部事業をどのように進行・実施をして行くべきか…と先行き不透明であります。

が、この機会だからこそ、

# 2020年に当たつて



支部長 川 浦 碧 濤

# 一宮支部報

公益社団法人  
中部日本書道会  
一宮支部発行  
編 集  
支部編集部

## 支部集会・交流会

支部次長 吉 田 桃 花

令和元年度

▼日時 令和二年二月二十四日(月・振休)  
▼会場 一宮スポーツ文化センター(支部集会)  
真清田神社參集殿(交流会)

川浦碧濤支部長のご挨拶

神社参集殿に移し開催されました。引き続き岡野楠亭副理事長にご臨席頂きました。

川浦碧濤支部長・松下英風副理事長・岡野楠亭副理事長にご挨拶に続き、久保田浩文県議会議員・木藤俊郎県議会議員・岡野楠亭副理事長にご挨拶

に過ぎ、真清田神社宮司辰守弘様の万歳三唱で交流会の幕は惜しまれつつも閉じられました。

## 令和元年度 書道講演会

連盟副会長 村 上 史 麗

▼日時 令和二年二月二十四日(月・振休)  
▼会場 一宮スポーツ文化センター  
■講師 四辻 秀紀 先生

貴族子女の教育として習字と和歌は最も重要なもので、歌合や物語文芸(源氏物語等)の発展にともないかな書が美しさの頂点を極めることになりました。そこから高野切・関戸本古今集など多くの古筆が生れてくることになります。

私はも長い歴史の中で多くの先人達が築き上げた日本の独特のかなを護り継承していかなければと感じました。聴講者 一一一名  
(内、一般) 十四名

## 支部集会

公益社団法人 中部日本書道会 一宮支部



令和元年度 書道講演会

平安時代のかなの美

連盟副会長 村 上 史 麗

支部集会終了後、引き続

き支部講演会を開催しまし

た。今回は徳川美術館で永

年勤務され現在名古屋経

済大学教授でいらっしゃいま

す、四辻秀紀先生をお迎え

して「平安時代のかなの美」と題して一時間半の講演を

お願いしました。

されると中国風文化(唐様)

末筆乍ら、偉業を成し遂

げられた相談役の先生方に

おかれましては、今日まで

以上に支部運営にご指導と

ご鞭撻を賜り、諸行事に關

しては、執行部並び諸先生

会員みなさまのご協力とご

支援をいただきますよう、

一切にお願いいたします。

現在、全世界を脅かして

いる新型コロナウイルス感

染関連報道が連日されてお

ります。日常生活の中で健

康・安全面を特に留意し、

困窮な生き方を強いられて

いる今日この頃です。

支部会員の皆様におかれ

ては、諸行事の実施に當た

り、温かいご支援ご参加を

頂戴し、盛況の裡に終了で

きました。此の紙面をお借

り致し、心より感謝と御禮

を申し上げます。

令和時代に入った昨年度

を顧みますと、一宮支部設

立六十五周年を迎えること

が出来、記念事業としては、

関係各位をはじめ、皆々様

のご協力のお蔭をもちまし

た。先賢の在りし日を偲び

た。先賢の在りし日を偲び

むものです。

つ、今後の発展向上を望

めることになりました。そ

こから高野切・関戸本古今

集など多くの古筆が生れて

くることになります。

先生の貴重な資料を拝見

出来、会場の皆様もスクリー

ンに写し出されるかなの一

線くの素晴しさを食い入

りました。この三人は能筆とし

てすぐれ特に三跡と呼ばれ

ています。その後行成の子

孫(世尊寺家)によつて受け

るお姿に感動いたしました。





出品点数  
三、二八二点  
招待・無鑑査  
知事賞・獎励賞  
特選・金賞  
七夕賞  
九六三点  
三八七点  
一、八八五点



今年は世界遺産が二つもあり、平安文化とお茶のまち、宇治の旅です。川浦支部長挨拶の後、大型バス二台で出発！移動時間も旅行の楽しみ、あつという間に午前の目的地、世界遺産「平等院鳳凰堂」へ到着です。観光ボランティアガイドを依頼し、六グループに分かれて入場しました。「梵鐘」「平等院鳳凰堂」「ミュージアム鳳凰館」を見学し、ガイドブックには載つていな

# 令和元年度支部研修旅行 —京都・宇治の旅—

三日が七五四名、十四日が九一二名、合計一、六六六名でした。

今回の学生書道展出品点数は、三、二八二点で前回より三百点程の減でした。また選抜作品展は、一〇〇名の先生方の作品を展示させて頂きました。

わいに食られており多く  
の来場者が作品の前で撮影  
をされていました。

『おりもの感謝祭一宮七夕まつり第四十七回学生書道展』は、七月十三日、十四日の二日間に渡り、一宮スポーツ文化センターにて開催されました。同時開催として、『選抜作品展』も行なわれました。

▼会期　令和元年七月十三日(土)～十四日(日)  
▼会場　一宮スポーツ文化センター

一宮書道連盟会長 鷺野紫篁

# おりもの感謝祭一宮七夕まつり

一宮書道連盟主催  
第26回 選抜作品展

大西影慕 小川香風  
尾中杉得 春日井栄喜

森 雪華 山口如泉  
山田紅照 山本瑠苑

まつりに協賛し、第二十六回選抜作品展が開催されました。当連盟を代表する役員の先生及び、併催の「七夕学生書道展」にご出品の先生方を選抜させていただきました。楽しくユニークな、三品の展覧会でした。

▼会場　一宮スポーツ文化センター

おりもの感謝祭一宮七夕まつり

# 第47回 学生書道展

一宮書道連盟会長 鷺野紫篁

# 第26回 選抜作品

一宮書道連盟主催

員顔合せの会場は「花やしき浮舟館」季節の食材を使つた松花堂弁当を楽しみながら会話が弾み、交流を深めました。

午後は宇治川の対岸へ移動し、「源氏物語ミュージアム」もう一つの世界遺産「宇治上神社」そして「宇治神社」「橋寺の宝治橋断碑」「宇治茶」と歴史あるまちの散策をそれぞれ楽しみました。その中の「宇治橋断碑」は宇

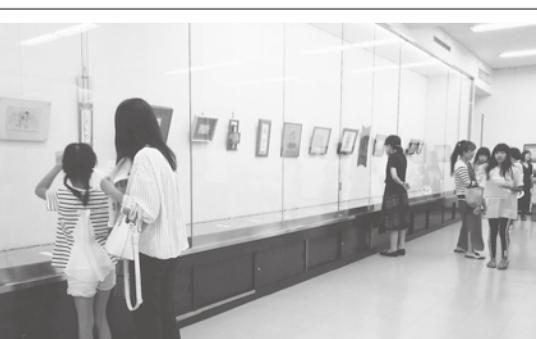
荒川白扇 池野接草 阿部舟在 犬飼游華

野柳性光  
市川嶺華  
伊藤美皇  
勝海芝委  
倉橋高堂  
田中石雪  
林如華  
牧仙兵  
八木彩花

村田光格 橋本成良 吉田桃花  
小島瑞月 村上史麗  
高松秀翠 吉田美影  
酒井光華 西垣美善  
横井靜嘉 太田紫翠  
野沢玲光 後藤蘇日  
中山芳泉

大西影慕	小川香國
尾中杉得	春日井榮壽
加地孤握	可兒長望
川出曉香	川本青格
小島英華	小出和秀
小島祥風	五藤梅齡
酉井香雪	酉井淑空

渡邊	森
田玉波	雪華
水香	山口如泉
脇	山本瑠苑
渡辺	渡辺湖風
美翠	渡辺美翠



ご入選・ご入賞  
おめでとうございます  
改組新第6回 日展

# 支部展・学生展の予告

主催 公益社団法人中部日本書道会一宮支部  
一宮市芸術文化協会

令和元年度 一宮支部収支決算報告				自至	平成31年4月1日 令和2年3月31日		
収入の部			支出の部				
科 目		決算額 (円)	予算額 (円)	科 目		決算額 (円)	予算額 (円)
款	項	目					
1 会費収入	1 会費収入			1 管理費	1 管理費		
	1 理事・監事	5,000	5,000			1 支部事務所費	1,045,698
	2 評議員会費	424,000	416,000				1,122,000
	3 正会員会費	788,000	880,000	2 事業費	1 書道振興事業費		
	4 準会員会費	95,000	120,000		1 講演会費	98,601	132,000
2 事業収入	1 事業収入				2 講習会費	0	0
	1 支部展収入	708,000	920,000		3 研究会費	0	0
	2 支部学生展収入	1,220,760	1,520,000		4 研修会費	983,975	866,000
	3 支部選抜展収入	0	0		5 選抜展費	0	0
	4 支部研修会収入	1,024,000	860,000		6 学生展費	1,658,133	1,931,000
	5 支部講演会収入	0	0		7 支部展費	615,265	805,000
	6 支部祝賀会収入	695,500	1,190,000		8 色紙展費	0	0
3 雑収入	1 雑収入				9 書道振興事業費	370,000	380,000
	1 受取利息	0	0		10 支部祝賀会費	851,985	1,220,000
	2 雜収入	100,000	95,000				
	2 本部より振替金	1 愛の募金委託金	100,000	2 本部より振替金	1 愛の募金委託金	100,000	
4 投資活動収入	1 特定資産取崩						
	1 支部積立金取崩			3 投資活動支出	1 特定資産取得支出		
	前年度より繰越	897,249	650,000		1 支部記念事業積立金	70,000	70,000
	取入合計	6,057,509	6,656,000		2 次年度へ繰越	263,852	130,000
					支出合計	6,057,509	6,656,000

本号発行までに左記の方々がご逝去されました。心から哀悼の意を表し、ご報告申し上げます。

計報

渡溝水里後小木市  
邊口谷中藤林村川  
照葉靜紅美秋有映  
花華香華川月里舟

# 令和元年度 新入会員紹介

今期も役員一同益々力を  
合わせて頑張つてまいります。  
ご指導ご協力の程、よ  
ろしくお願い申しあげます。

編集後記

評議員岩田佳川先生  
御岳母様